



未来をひらく



八幡図書館折尾分館がオープン!



7月1日、折尾地区総合整備事業に伴い、
仮移転しておりました八幡図書館折尾分館が、
オリオンテラスにオープンしました。



施設概要

八幡図書館折尾分館
〒807-0861
北九州市八幡西区堀川町5-23 オリオンテラス内
TEL. 093-601-1999 FAX. 093-601-1999
閲覧席 36席 蔵書数 約31,000冊

開館時間・休館日

●午前9時30分から午後7時まで
(土曜日、日曜日及び休日は
午前9時30分から午後6時まで)



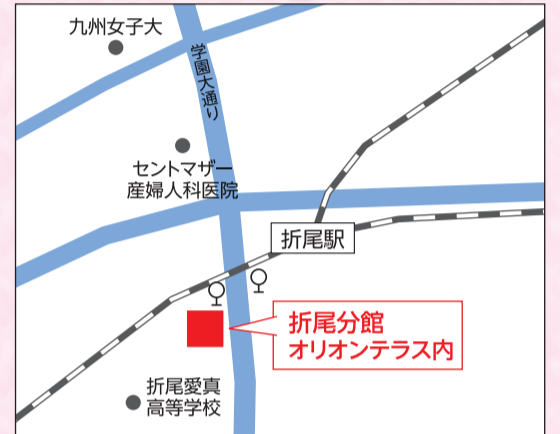
【休館日】

- 月曜日(その日が休日にあたるときは、その翌日)
- 12月29日から翌年の1月3日までの間
- 館内整理日
- 特別整理期間



アクセス

- JR 折尾駅下車(徒歩3分)
- 西鉄・市営バス 折尾駅下車(すぐ)



職員からのメッセージ

図書館は本を読むところではありません。
読みたい本が見つからない時、調べたいことがある時、そんな時は皆様のお手伝いをします。
工作や体験学習も行っていますので、新しくなった図書館に是非きてください。



夏季における児童生徒のマスクの着用について



これまで学校生活における基本的な感染対策の一つとして、「マスクの着用」についてご協力をお願いしてきました。

現在学校では、国の基本的対処方針の変更や夏場の熱中症予防を最優先とすることから、下記のようにマスクの着用が不要な場面では、マスクを外すよう明確に声かけを行っています。保護者の皆様におかれましてもご理解とご協力をお願いします。

マスクの着用が不要な場面

- 体育の授業(運動場に限らず、プールや体育館なども)
- 屋外での休み時間の運動遊びや話す活動がほとんどない学習活動
- 運動部活動の活動中
- 登下校時

【例】短なわ遊び、一輪車遊び、自然の観察や外に出て絵を描く活動など

※ただし、友達との距離が確保できにくい場面では、状況に応じてマスクの着用を含めた感染対策を講じます。

- ◎ 病気などの様々な理由で、マスクをつけること、または外すことができないお子さんもいます。マスクの着脱についても、差別・偏見が生まれないよう学校でも指導してまいります。ご家庭でもお子様とお話ししていただきたいと思っております。
- ◎ マスクの着用についてご心配な点がございましたら、教育委員会または、各学校へご相談ください。

【参考】リーフレット「子どものマスク着用について ~厚生労働省 文部科学省~」
URL <https://www.mhlw.go.jp/content/000942784.pdf>



給食食材の価格高騰に対応します

新型コロナウイルス感染症やウクライナ危機等、様々な社会情勢による物価の上昇で、小麦や油、野菜、加工品等、給食に使用する食材も急激に価格が高騰し、献立にも大きな影響が出ています。

北九州市では、コロナ禍における保護者負担の軽減を図る観点から、給食に使用する食材価格の高騰分について、給食費を据え置くこととし、そのための経費(3億6,480万円)を令和4年6月議会に補正予算として計上しました。

● 地場産物の活用

野菜価格の高騰のため、市内産野菜は例年の4分の3程度に減量となる見込みでしたが、例年同様の使用量を維持します。また、地元の水産物である「関門海峡たこ」を給食に取り入れることが難しい状況でしたが、例年どおり使用します。地場産物を活用した給食を提供することで、北九州市のよさを児童生徒に知らせます。

● 旬の野菜や多様な食材の活用

4月から6月までの給食では、価格が高騰しているたまねぎやごぼう、じゃがいも等の野菜の使用量を例年より減量し、比較的価格が安定しているキャベツや豆製品等を使用して、栄養量を補ってきました。今後は、旬の野菜や多様な食材を活用した献立から、身体機能の維持・調整に不可欠なミネラルやビタミン、食物繊維を摂取できるように努めます。

● 魅力ある献立の提供

4月から6月までの給食では、価格を抑えるために豚肉や牛肉を安価な鶏肉に変更して提供しました。7月以降は児童生徒に人気の牛肉やデザート等も取り入れ、給食時間が待ち遠しくなるような魅力ある献立の提供を行います。

● 出汁を使った和食の提供

6月の給食では、出汁に使用するいりこや昆布、かつお節を本来の3分の2に減量していましたが、7月以降は以前の量に戻します。調味料に頼らず、出汁のうまみを生かすことで、素材本来の味を引き出し、本物のおいしさを感じることが出来る給食の提供を続けます。



令和4年度に教育委員

未来を見据えた環境整備



新規 市立高校の「魅力向上事業」が本格始動!

令和4年度予算額 400万円

令和3年4月に公表しました「北九州市における後期中等教育機関の今後の方針について」を踏まえ、北九州市立高等学校(通称:市高)の魅力アップを図っています。

市高のスクールミッション(高校の役割・理念)

市内唯一の『市立』高等学校としての強み(幅広いネットワーク)を生かして、『産・官・学・民』と連携して本市が推進するSDGsを教育活動に導入し、国際的な視点も持ちつつ、地域で活躍できる若者を育成します。

絶えず変化する社会や世界が求める人物像を的確に把握し、未来の社会や世界をけん引する力を備えた若者を育成します。



高校生ビジネスプラン・グランプリ



市高タイム

市高タイム

生徒が自分の進路希望や興味・関心等に応じて学習メニューが選べる課外の講座もあり! 夢への第一歩は市高から!!

学科構成の変更を検討中

市高には普通科と情報ビジネス科を設置していますが、令和6年度に新しい学科を新設する準備をしています。新学科では、普通科で学ぶカリキュラムに加えて、地域や世の中の様々な課題の発見・解決をテーマとした教科を新設する予定です。思考力・発想力・課題解決力など、時代や社会構造の変化に対応する力の育成を目的とした学科です!

民間人校長の募集

時代が求める人材育成を推進するため、校長を公募しました。新しい風を市高へ!



最良の高校生活となるよう産・官・学・民との連携の下、市高のさらなるアップグレードにつなげます。これからの市高にご期待ください!

GIGAスクール構想の推進について (ICT活用支援事業)

令和4年度予算額 1億280万円

本市では、GIGA端末を活用して、個別最適な学び、協働的な学びを推進しています。学校におけるICT活用の支援として、これまでのICTサポーターに加え、今年度は国の補助金を活用し、9月に「GIGAスクール運営支援センター」を開設します。従来のヘルプデスクによるオンライン支援(学校からの問合せ対応、障害対応、端末等管理)に、GIGA端末に関する家庭からの問合せにも対応できるよう機能を強化します。

また、コロナ禍において急速に広がった、オンライン学習等で利用する学校ネットワークについて、ネットワークアセスメント(評価)を実施し、GIGA端末活用の環境改善に努めます。



個別最適な学びの場面



生徒1人1人がドリルアプリに取り組む様子



生徒が授業の振り返りを授業支援アプリに書き込む様子



生徒が分担して行った実験の結果を入力する様子

協働的な学びの場面



協働で作成したデータを大型テレビに映し学級全体で結果を確認する様子



教員がリモートで参加している生徒たちに声かけを行いながら授業を行う様子

働きがいのある学校づくり

令和4年度予算額 2,200万円

部活動指導員の拡充・部活動の地域移行

部活動指導員とは、北九州市立中学校において、顧問教員に代わって、部活動指導や学校外での活動(練習試合等)における引率業務を担うことのできる会計年度任用職員のことです。現在、25名の部活動指導員が、市内の19中学校、25部活で活動いただいています。

指導員は、各競技や活動に携わってきた方で、知識や技能を生かした専門的な指導をすることができます。生徒からも「指導

がわかりやすい」、「上手になった」など好評です。

また、スポーツ庁の「運動部活動の地域移行に関する検討会議」や文化庁の「文化部活動の地域移行に関する検討会議」において、学校部活動の地域移行への検討が進められており、今後、部活動指導員のニーズは高まっていくものと考えられます。

部活動指導員の概要については、市のホームページにも掲載されていますのでご覧ください。



委員会が行う主な取組み

時代を切り拓く力の育成

新規 Kitakyushu Global Gateway 体験学習事業

令和4年度予算額 8,200万円

児童生徒に、外国語活動・外国語の授業で学んだことを活かし、英語でのコミュニケーションの楽しさや必要性をより一層感じてもらうため、Kitakyushu Global Gateway(北九州英語村)で体験学習を行います。

北九州英語村では、海外のホテル、レストラン、マーケット、エアラインなどの各場面で英語でのやり取りを体験します。また、場面に関連した学習も行います。

多くの児童生徒が身近な場所で海外疑似体験を行い、楽しい体験を次の学びへとつなげます。

令和4年度参加対象児童生徒：市立小学校、中学校、特別支援学校の全小学6年生、全中学1年生～3年生



新規 医療的ケア児(※)支援 北九州方式構築モデル事業

令和4年度予算額 1,190万円

医療的ケア児支援法の施行(令和3年9月)に基づき、市立学校に通う医療的ケア児や保護者及び教職員が安心して学校生活を送れるよう、医療的ケア児の支援体制の構築を目指します。



医療的ケア学校コーディネーターの配置

教育委員会に所属して、特別支援学校配置看護師への支援や医療をはじめとする関係機関との連携、医療的ケアに関する研修の企画・実施などを通して、医療的ケア児が通う小・中学校及び特別支援学校への支援等を行います。

医療的ケア児の在籍する学校における支援体制の強化

特別支援学校配置看護師を2名増員することで、安心、安全な医療的ケアの実施や保護者の負担軽減に努めます。また、看護師が医療的ケア児の在籍する小・中学校に対して、オンラインや訪問により支援する仕組みを導入することで、特別支援学校を核とした地域の医療的ケア支援体制の構築を目指します。

(※) 医療的ケア児とは… 日常生活及び社会生活を営むために恒常的に医療的ケア(人工呼吸器による呼吸管理、喀痰吸引その他の医療行為)を受けることが不可欠である児童

児童う歯予防対策

教育委員会では、令和4年3月に「学校における歯と口の健康づくり推進計画」(計画期間：令和4～8年度)を策定しました。

この計画に基づき、専門家による歯みがき指導をはじめとした生活習慣の形成や歯科受診の推進、フッ化物洗口法の導入等、より一層、児童生徒の更なる歯と口の健康づくり推進に取り組んでいきます。



令和4年度予算額 3,970万円

安心な学びの場づくり

新規 北九州市SNS悩み相談窓口開設

令和4年度予算額 1,530万円

北九州市立の小・中・高・特別支援学校の児童生徒が一人で悩みを抱えることがないように、北九州市SNS悩み相談窓口を開設しました。

受け付ける相談内容

学校、部活動、友達、家族、先生や周りの大人のこと、成績・進路のこと、いやなこと、困っていること、いじめ、身近な人からの暴力、体を触られるなどのセクハラ、学校に行けない、家族の世話で困っている などどんな悩みでも相談できます。

相談窓口の特徴

チャットで学校やお家での悩みなどを相談員に相談することができます。「相談すること」「学校に知らせること」の2つから選ぶことができます。

「相談すること」は年始の1月1日～3日と土曜日を除く19:00～22:00(受付は21:30)まで相談でき、相談員からのアドバイスで悩みの解決を目指します。

「学校に知らせること」は24時間、利用することができます。

どちらも自分の名前を伝える必要はないので、困ったときは安心して利用できます。



新しい不登校対策がはじまります

不登校児童生徒の社会的自立に向けて、関係機関と連携を強化するため、令和4年度から新たに「不登校等支援センター」を設置し、

- (1) 市内4か所の「教育支援室」(かなだ、わかぞの、くろさき、あいおい)での支援
 - (2) 一人一台のタブレットを活用した「オンライン支援室」での支援
 - (3) 「社会的自立」を目指す「未来へのとびらオンライン授業」での支援
- などを通して、これまで以上に不登校等に悩む子どもや保護者に寄り添った支援を行います。

※ 市内4か所(かなだ、わかぞの、あいおい、くろさき)に設置している「少年支援室」の名称が、令和4年4月から「教育支援室」に変更になりました。「教育支援室」では、引き続き不登校児童・生徒の「社会的自立」を目的に、通所による支援を行っていきます。



詳しい内容は
パンフレットを
ご覧ください

詳しくはこちら!



学校施設老朽化への対応について

1 学校施設の状況

本市の学校施設は、建築後30年以上を経過したものが多く、老朽化が進んでいます。同時期に建設された学校施設が多いことから、今後、大規模改修や建替えの時期が重なることが予想されます。しかし、財源には限りがあるため、これらを一齐に更新することは難しい状況にあります。

2 学校施設の老朽化対策について

本市では、全ての学校施設の耐震化が完了していることから、適切な改修を行うことで、ほとんどの学校が長期間利用できるようになります。平成30年3月には、建物を安全にできるだけ長く活用し、ライフサイクルコストの縮減と支出の平準化を図ることを目的に「北九州市学校施設長寿命化計画」を策定しました。

学校施設の老朽化対策については、この計画に基づき、予算の範囲内で計画的な改修を行い、安全で快適な学校施設整備に取り組んでいます。

3 主な老朽化対策事業

① 大規模改修工事(長寿命化改良)

教室改修やトイレの洋式化、多目的トイレの設置、照明のLED化など学校内部のリニューアル工事と併せて、外壁改修工事を行い、建築後80年利用することを目指します。

② 外壁・屋上防水改修工事

外壁の落下防止対策のため、外壁改修工事と屋上防水改修工事を行います。

③ 学校トイレ整備事業

和式便器から洋式便器への取替(洋式化)や、より明るいLED照明にするなどのトイレ改修を計画的に進めています。



着工前と
竣工後の様子



マイスター教員認定証授与式

北九州市教育委員会では、教員の児童生徒への指導力向上を図るため、平成21年度から特に指導力に優れた教員を「マイスター教員」と認定し、教員からの授業づくりに対する相談対応や研修の講師、公開授業の開催など、学校の枠を超えた全学的な教員の指導力向上に取り組んでいます。

令和4年度は、新たに則松中学校の小林珠美指導教諭、城野小学校の磯崎順子教諭、中央中学校の林田利恵教諭の3名がマイスター教員に認定され、認定証授与式を4月14日に行いました。現在、合計18名のマイスター教員が活躍しています。マイスター教員については北九州市のホームページをご覧ください。



令和4年度 マイスター教員名簿 ※校種・教科内は、50音順 ※令和4年4月1日現在

●小学校

教科等	氏名
国語	和泉 美佐子
	児玉 奈穂美
算数	城 智子
社会	伊藤 有花
	濱田 明美
生活・総合	福田 恭子
学級経営	木下 京子
養護	穴戸 直子
音楽	磯崎 順子
特別支援教育	松岡 満子

●中学校

教科等	氏名
国語	小川 哲治
	林田 利恵
	原田 勇一
	森田 久美
理科	小林 珠美
	竹原 あつみ
保健体育	諸藤 亜明

●幼稚園

特別支援教育	西田 久恵
--------	-------

令和3年度「福原賞」表彰式

令和4年2月14日(月)小倉北区役所504会議室にて「令和3年度 福原賞表彰式」を行いました。「福原賞」とは、本市の小中学生の善行(人命救助等)やボランティア活動、地域貢献で顕著すべき行為をした児童生徒を表彰するものです。

本年度は、

- 高齢男性が転倒し頭から流血している場面に遭遇した際に、救急車を呼び、救急隊を自宅に戻った高齢男性のところへ誘導した。
- 不審者に声をかけられて困っている児童に遭遇した際に、不審者と児童の間に割り込み、手をつないでその場から離れ、家まで送り届けた。
- 使わなくなったランドセル等を支援団体を通じて、チャリティーに寄付する活動や交流会を行った。

など、小・中学生個人64名と5団体が受賞しました。おめでとうございます。

